

令和 6 年度 地域年金展開事業【奈良県】

令和 7 年 2 月

奈良年金事務所
(奈良県代表年金事務所)



日本年金機構

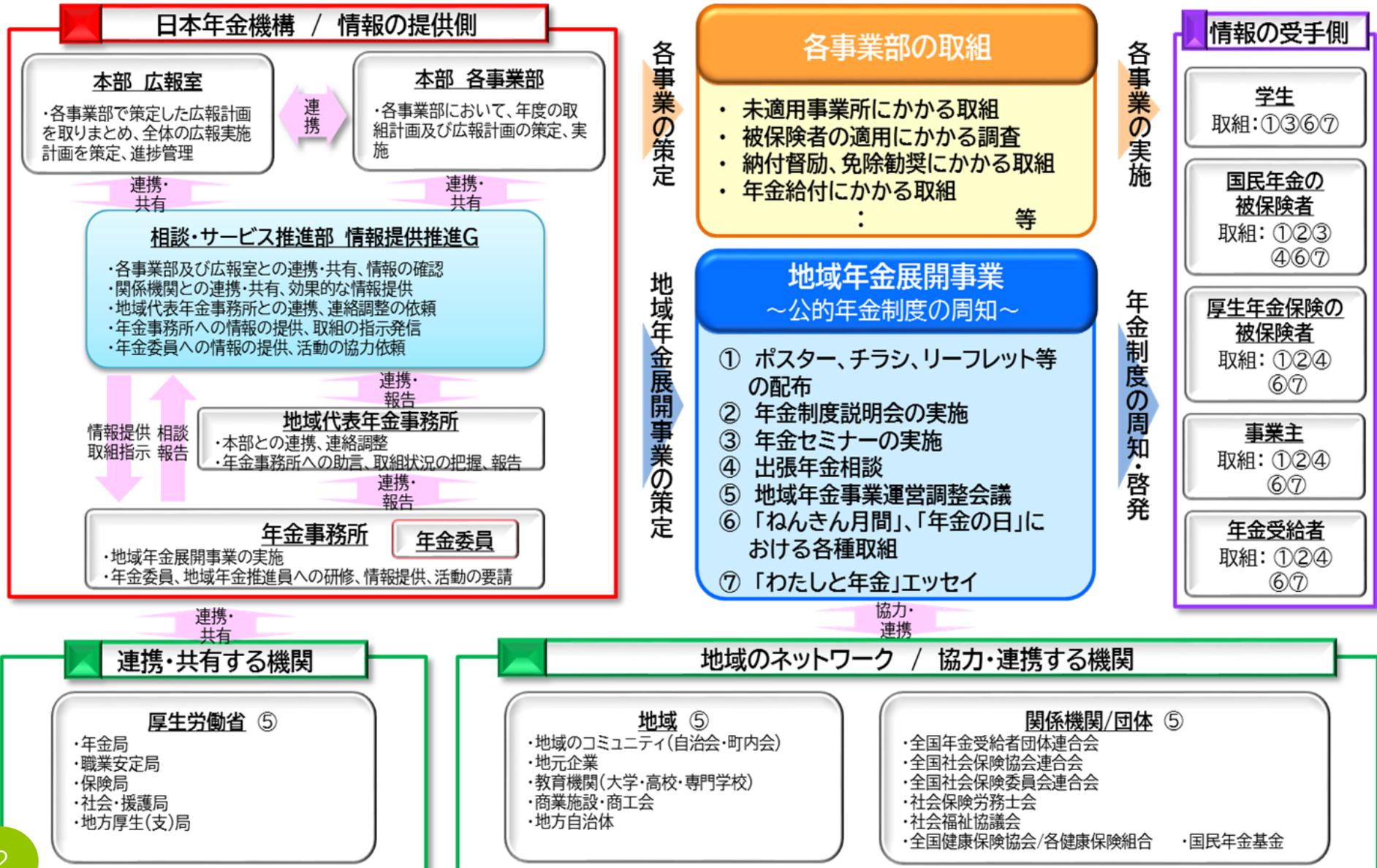
Japan Pension Service

目次

1. 地域年金展開事業の概要	1
2. 令和6年度事業実績中間報告（令和6年4月～令和7年1月）	4
3. 令和7年度取組方針（案）	15
4. 令和7年度事業計画（案）	17
(1) 地域連携事業	
(2) 年金セミナー事業	
(3) 地域相談事業	
(4) 年金委員活動支援事業	
(5) 地域年金事業運営調整会議	

1. 地域年金展開事業の概要

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《本来の取組内容》

地域連携事業

- ・ 職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・ 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和6年度事業実績中間報告 (令和6年4～令和7年1月)

○地域連携事業

取組み内容	実績	総括及び課題等
<p>市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> ①窓口へのポスター掲示等 ②市報への記事掲載 ③行事への参画 ④職員への研修 	<ul style="list-style-type: none"> ①県内全市町村にてパンフレット等の設置 ②年金制度・日本年金機構の事業の周知依頼 市町村向け情報誌「かけはし」等による市町村広報誌への原稿提供 ③実施なし ④各年金事務所において、上期及び下期に各2回以上職員向け研修を実施 	<p>【総括】市町村② 「かけはし」には、市町村から特に照会の多い障害年金について、別冊発行の「障害年金講座」のほか、毎号、障害年金のQ Aや注意事項等を取上げており、有用であるとの意見を頂いている。</p> <p>【課題】市町村② 「かけはし」の地域情報欄は特別催告状等の案内の送付スケジュールが中心である。地域性を踏まえた効果的な取組などの発信を充実させる必要がある。</p>
<p>社会保険労務士会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①社会保険労務士事務所へのポスター掲示等 ②会員への研修等 	<ul style="list-style-type: none"> ①リーフレット設置依頼 「年金予約相談」、「ねんきんネット」、「マイナポータル連携」の利用促進ポスター掲示、会報誌及び社会保険労務士会ホームページ掲載による広報依頼 ②社会保険労務士会連絡会議を通じた情報共有 各種事務連絡の説明、年金相談窓口の運営状況や事務処理誤り事例を共有（毎月第3水曜日開催） 	
<p>社会保険協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会報誌への記事掲載 ②会員への研修 	<ul style="list-style-type: none"> ①「社会保険なら」（隔月発行）への記事掲載 「算定基礎」「ねんきん月間」「ねんきんネット」「電子申請」「年金予約相談」等、多数の記事を掲載 (毎月5,000部発行、社会保険協会ホームページ掲載) ②【社会保険事務講習会】 5月及び9月に事業所の社会保険事務担当者への研修の講師を派遣 	<p>【総括】社会保険協会② 当研修講師として年金事務所職員を派遣している県は全国的に少ない方であるが、参加者の声をしっかりと受けとめ改善することにより、回を追うごとにアンケート結果が良くなってきている。</p> <p>【課題】社会保険協会② 事務講習会講師の経験をサンプルとして、日本年金機構のイメージアップや、事業所からのより正確な届書の提出にどのように繋げていけるのか、職員間で、その課題やノウハウを共有する仕組みが必要。</p>

取組み内容

実績

総括及び課題等

年金受給者協会

- ①年金月間等の周知依頼
- ②会員への研修

- ①実施なし
令和7年3月解散に向け、下期の協力依頼未実施
- ②6月6日に新大宮セミナールームにて地区年金指導員を対象に研修実施

全国健康保険協会

- ①委員研修の共同実施
- ②委員表彰の共同実施
- ③年金委員新規委嘱の協力

- ①11月19日に奈良ホテルにて社会保険委員合同研修会を共同実施
- ②11月19日に奈良ホテルにて年金委員・健康保険委員表彰式を共同実施
- ③新規の健康保険委員の情報提供に基づき年金委員勸奨を実施
令和6年度上期及び下期の新規委嘱目標人数を達成

ハローワーク

年金制度説明会の開催等による制度周知及び免除申請等の相談窓口の開設

- 令和6年度取組
令和6年7月、奈良労働局へ「失業特例による国民年金保険料の免除」の説明会、各種リーフレット等の設置協力依頼及び各ハローワークへ個別協力依頼

○年金制度説明会等の実施状況（各ハローワーク合計）

実施年度	実施回数	出席者数	書類受付件数
令和1年度	186回	10,086人	65件
令和2年～5年度	0回	0人	0件
令和6年度	0回	0人	0件

※県内5カ所（奈良、大和郡山、下市、大和高田、桜井）
※新型コロナウイルス感染症対策として中止した令和2年度以降未実施

【総括】ハローワーク
コロナ禍以降、ハローワークにおける説明会は短時間化されており、外部団体の参加はなく、説明会によらない周知方法が必要となる。

【課題】ハローワーク
より効果的・効率的な対策を検討、協議し実施する必要がある。

民間企業

- ①適用事業所
- ②社会福祉協議会
- ③奈良県シルバー人材センター

- ①年金制度説明会 9回、195事業所
（短時間労働者の適用拡大説明会等、内オンライン3回、111事業所）
算定基礎届説明会 4回、255事業所
- ②職員及び利用者向け説明会 3回、55人（免除制度、障害年金等）
リーフレット設置依頼（免除制度、障害年金等）
- ③リーフレット設置依頼（ねんきんネット、マイナポータル連携等）

【総括】民間企業
質問・相談の容易さから対面実施希望が増えオンライン開催が減少。
社会福祉協議会との協力連携は新規取組によるもの。

【課題】民間企業
社会福祉協議会の利用者向けイベントは少人数で回数を多く実施されており、説明会の実施方法を検討、協議する必要がある。

○年金セミナー事業

取組み内容

①教育機関を通じて実施

(1)積極的にアプローチのうえ、各年金事務所5回以上の実施を目標とする。

(2)前年度実施校は継続実施に努める

(3)アンケート結果等の活用

②20歳到達者等の個人を対象として実施

実績

① (1)、(2)アプローチ及びセミナーの実施状況は以下のとおり
令和6年11月の厚生労働省から文部科学省への協力依頼を受け、令和7年1月末までの学生納付特例制度周知依頼の追加実施によりアプローチ回数が増加

	大学・短大	専門学校	高等学校	計
アプローチ実施(※1)	17校40回	35校82回	53校93回	105校215回
セミナー実施(※2)	0校0人	6校159人	10校915人	16校1074人
	新規 0校 未継続 0校	新規 3校 未継続 1校	新規 4校 未継続 3校	新規 7校 未継続 4校

※1 アプローチは文書、電話もしくは訪問による回数

※2 下記取組はアンケートが未回収のため、セミナー実施に計上していません
・動画案内リーフレット等の進路指導室への設置や学生への配付

〈参考〉令和5年度実績(令和5年4月～令和6年1月実績)

アプローチ実施：65校105回

(大学等：9校14回、専門学校：16校27回、高等学校：40校64回)

セミナー実施：5校568人

(大学等：0校0人、専門学校：2校137人、高等学校：3校431人)

(3)アンケート結果集計 資料3参照

②実施状況は以下のとおり

20歳到達者等への文書案内を契機とし、相談来訪者へは対面もしくは事務所内動画視聴により、オンライン及び事務所外動画視聴はQRコード等から視聴実施

対面実施	オンライン実施	事務所内 動画視聴	事務所外 動画視聴
1回22人	12回142人	12回82人	1回10人

総括及び課題等

【総括】年金セミナー
年度前半の積極的なアプローチにより各事務所が新規実施校を確保し前年度実績を超えた。年末の追加アプローチを来年度の新規実施に繋げていく必要がある。

【課題】年金セミナー
カリキュラム上の制限により継続実施に至らなかった学校がある。アプローチ時期、セミナー実施方法の検討によりセミナー再開を図るほか、資料設置事例等の提供により制度周知機会の確保を図る必要がある。

取組み内容		実績	総括及び課題等
電子媒体の活用	学内LAN等の電子媒体を用いた周知・広報の実施に向けた協力依頼を行う。	年金セミナー実施勧奨に併せ協力依頼を実施（電子媒体での実施協力校なし）	【課題】 年金セミナーの実施に重点を置いたことが、実施校なしの一因である。 実施効果を含む必要性の説明等、校内手続きの煩雑さを理由に協力を得られていない。
リーフレット等の設置	大学等に対し、学生納付特例制度に関するポスターやリーフレット等の設置。	学生納付特例制度の制度周知は年度当初及び年末に大学、専門学校等の対象校へ文書等により依頼（リーフレット・申請書等を随時追加送付） ねんきん月間におけるエッセイ「わたしと年金」の募集にあたり、奈良県教育委員会、奈良県内の大学、高等学校および専門学校、県内市町村等へリーフレット設置等の協力を依頼。 ※ねんきん月間の取組は、12頁以降に記載	【課題】 申請状況確認や申請書の取り纏め等に協力を得られていない学校に対し、学生の不利益防止を第一に協力を進めていただく必要がある。

○地域相談事業

取組み内容		実績	総括及び課題等												
市町村	遠隔地の市町村に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設	五條市において12回実施、60名が来訪された。 ※令和5年度実績 実施9回、53人	【総括】 地域のお客様の利便性が向上し、予約もほぼ埋まっている状態。 【課題】 更なる出張相談には、事務所の体制を整えたうえで、実施する必要がある。												
大学等	学生納付特例制度にかかる相談・受付窓口を開設	実施なし													
商業施設	各地域の利便性の高い商業施設に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設	実施詳細は以下のとおり <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>来訪者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月21日</td> <td>王寺町やわらぎ会館</td> <td>2人</td> <td>合同行政相談</td> </tr> <tr> <td>11月7日</td> <td>生駒セイセイビル</td> <td>10人</td> <td>合同行政相談</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	会場	来訪者数	備考	10月21日	王寺町やわらぎ会館	2人	合同行政相談	11月7日	生駒セイセイビル	10人	合同行政相談	【総括】 総務省 奈良行政監視行政相談センター主催の行政相談所の開設に併せて実施。 【課題】 派遣する職員には、社会保険全般の知識が要求されるため、限られた職員しか担当出来ない。今後に備え、他の職員でも実施できるよう、育成が必要である。
実施日	会場	来訪者数	備考												
10月21日	王寺町やわらぎ会館	2人	合同行政相談												
11月7日	生駒セイセイビル	10人	合同行政相談												

○年金委員活動支援事業

	取組み内容	実績	総括及び課題等
年金委員	①研修及び意見交換の実施	<p>①【職域型】 年金委員研修として各年金事務所において実施（延べ184名） 令和6年4月17日・19日・26日、5月21日・23日・24日、6月28日、7月19日・29日、9月13日・20日、令和7年1月17日・24日</p> <p>【地域型】 合同地区連絡会および研修会として年4回実施（延べ76名） 令和6年6月14日、10月8日、12月18日、令和7年3月12日（予定）</p> <p>【社会保険委員合同研修会】 令和6年11月19日に奈良ホテルにおいて実施（112名）</p> <p>【全国年金委員研修】 令和6年11月11日（月）開催（48名） 東京会場受講2名、各年金事務所受講46名</p>	<p>【総括】① 感染症対策、参加容易性に配慮し参集及びオンライン形式による研修会を実施した。</p> <p>【課題】① 参加者増に向けて、周知方法等の工夫の必要がある。</p>
	②積極的な情報提供	<p>②情報誌『ねんきんNEWS』の発行 四半期毎に職域型及び地域型年金委員に郵送 アニュアルレポートの提供 令和6年12月に職域型及び地域型年金委員に郵送</p>	
	③委嘱数拡大に向けた取組	<p>③【職域型】 ・年金委員未設置事業所に対し、推薦依頼文書を発送 ・社会保険労務士会へ会員受託事業所への委員制度の説明等の協力を依頼</p> <p>【地域型】 ・会社を退職し職域型年金委員を解嘱となる方への勧奨 ・市区町村職員、民生委員、教育機関職員、社会福祉協議会への新規委嘱を勧奨</p>	<p>【総括】③ 県全体で委嘱数合計1000名以上を維持した。</p> <p>【課題】③ 今年度、年金機構として社会福祉協議会との連携を進め各協議会から地域型年金委員の推薦をいただいた。継続して効果的に活動いただく必要がある。</p>

取組み内容	実績	総括及び課題						
<p>④年金委員表彰式の実施</p> <p>年金委員</p>	<p>④令和6年11月19日 奈良ホテル「大和の間」に於いて全国健康保険協会奈良支部、奈良県社会保険委員会連合会と合同実施</p> <p>【表彰内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>厚生労働大臣表彰</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>日本年金機構理事長表彰</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>日本年金機構理事表彰</td> <td>6名</td> </tr> </table>	厚生労働大臣表彰	1名	日本年金機構理事長表彰	3名	日本年金機構理事表彰	6名	
厚生労働大臣表彰	1名							
日本年金機構理事長表彰	3名							
日本年金機構理事表彰	6名							

○「ねんきん月間」及び「年金の日」における取組

「ねんきん月間」

日本年金機構では、厚生労働省と協力して毎年11月を「ねんきん月間」と位置付け、国民の皆さまに年金制度に対する理解を深めていただくため、全国各地で公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。

「年金の日」

国民一人一人に『ねんきんネット』等を利用して年金記録や年金受給見込み額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、平成26年度から毎年11月30日（いいみらい）を「年金の日」に制定しています。

取組み内容	実績
①年金セミナー 対面形式	①11月7日 専修学校（42名参加） 11月26日 高校（10名参加） 11月27日 高校（70名参加） 11月18日 高校（80名参加） 11月27日 高校（6名参加）
②納付相談会	②11月30日 「年金の日」休日納付相談会（2年金事務所に開設、5名の相談）
③出張年金相談	③11月14日 市役所にて出張年金相談実施（5名の相談）
④年金委員表彰	④11月19日 奈良ホテルにて年金委員・健康保険委員表彰実施
⑤年金委員研修	⑤11月11日 全国年金委員研修に職域型31名、地域型17名参加 11月19日 奈良ホテルにて社会保険委員合同研修会を実施（112名参加）
⑥ねんきん月間等の広報活動	⑥社会保険なら（社会保険協会会報誌）への「ねんきん月間」および「年金の日」の広報用記事の掲載 報道機関への情報提供、関係機関へのポスター掲示及びリーフレット設置等の協力依頼

○エッセイ「わたしと年金」

日本年金機構では、公的年金制度の意義や、国民の皆さまとの結びつきなどについて、皆さまと一緒に考えていくことを目的として、応募者ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度との関わりについて、「わたしと年金」をテーマにしたエッセイを募集しています。

<エッセイ応募件数（奈良県）>

	一般	学生	計
令和6年度	0件	0件	0件
令和5年度	0件	77件	0件
平成4年度	0件	0件	0件

<エッセイ募集にかかる取組>

取組み内容	実績及び課題
広報・周知及び協力依頼	5月29日 報道機関に「わたしと年金」エッセイ実施の投げ込みを実施。 5月29日 奈良県教育委員会教育長、奈良県内各学校長、県内市町村等へ、エッセイ及び年金セミナーの周知及び協力を依頼。 令和5年度は社会科担当教員の協力を受け1校77名のご応募をいただいたが、令和6年度の継続に至らなかった。 各校における年金セミナー実施後に行うエッセイの案内を継続し、応募に繋げていく。

○スケジュール（令和7年2月～3月）

年 月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
令和7年2月	<ul style="list-style-type: none"> ●社会保険労務士会連絡会議 ●確定申告会場におけるマイナポータル連携の利用促進【全年金事務所】 	<ul style="list-style-type: none"> ●年金セミナーの実施【大和高田】 20歳到達者向け年金制度説明会 ●【桜井】 ル・クレエ橿原美容専門学校 		
令和7年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●社会保険労務士会連絡会議 ●「社会保険なら」（社会保険協会会報誌）への記事掲載 ●確定申告会場におけるマイナポータル連携の利用促進【全年金事務所】 ●学生・生徒向け説明会打合せ【奈良】 全国健康保険協会奈良支部 	<ul style="list-style-type: none"> ●年金セミナーの実施【奈良】 奈良市立看護専門学校 		<ul style="list-style-type: none"> ●地域型年金委員研修会

3. 令和7年度取組方針（案）

■ 取組方針

以下の点に留意のうえ、引き続き、関係団体と協力・連携を図りつつ、重点取組（「年金制度説明会」及び「年金セミナー」）を中心に、積極的かつ広範な事業展開を図る。

- 年間を通じた、計画的な事業展開
- 関係機関（団体）との協力・連携体制の強化
- 県内一体となった、効果的かつ効率的な事業推進体制の維持・構築
- 事業継続性の担保
- 年金事務所ごとの地域性や特性にあった事業展開

4. 令和7年度事業計画（案）

(1) 地域連携事業

地域の関係機関（団体）と協力・連携のうえ、公的年金制度の周知・広報の充実及び国民年金保険料の納付率向上を図る。

1. 年金制度説明会

企業主催の退職者セミナーや関係団体主催の各種説明会等の場における年金制度及びねんきんネット利用の説明を行う。

2. 関係団体の窓口へのリーフレット設置等

地域住民の身近な窓口である市役所、町役場や社会福祉協議会を中心に、関係団体の窓口にはポスターやリーフレットを設置する。

3. 市町広報誌、会報等への記事掲載

地域住民や会員の情報収集ツールである市町広報誌や会報等に、年金制度や出張年金相談に関する記事を掲載する。

4. 関係団体職員への研修

市町村、社会福祉協議会等の職員への研修を実施し、協力・連携体制を強化する。

5. 地域型年金委員の推薦依頼

関係団体へ地域型年金委員の推薦を積極的に依頼する。

(2) 年金セミナー事業

若年層に正しい年金の知識を伝え、年金制度への理解を深めていただくため、大学（短大含む）、専門学校、高等学校における年金セミナーの実施を中心に、広範かつ積極的な事業展開を図る。

1. 年金セミナー

- (1) 教育機関に対して積極的にアプローチのうえ、各年金事務所が前年度実績を上回る年金セミナーの実施を目標とする。
- (2) 令和5年度及び令和6年度実施校について、継続実施となるよう努める。
- (3) 学生と年代の近い若手職員を中心に、講師養成等、セミナーの充実化を図る。
- (4) アンケート結果や先生方のご意見等をもとに、適宜、教材を改訂する。
- (5) 県教育委員会や校長会へ協力を依頼する。

2. 学内LAN等の電子媒体を用いた周知・広報の実施に向けた協力依頼

従来の紙媒体（ポスター、リーフレット等）に加え、より効果的かつ効率的に周知・広報活動を実施するため、学内LAN等設置済みの大学等に対して、学内LAN等の活用に向けた協力を依頼する。

3. 大学や専門学校の窓口へのリーフレット等の設置

学生の身近な窓口である大学や専門学校の窓口にはポスターやリーフレットの設置を依頼。

4. 「わたしと年金」エッセイの募集

公的年金制度との関わりを描いた「わたしと年金」をテーマにしたエッセイを募集する。

(3) 地域相談事業

地域(市町村、大学、商業施設等)に出向いて出張年金相談を行うことにより、相談ニーズに対応するとともに、地域住民のみなさまに年金をより身近に感じていただく。

1. 市町村

年金事務所より遠隔地の市町村に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設する。事前予約により効率化を図る。

2. 大学等

大学等(※)に赴き、主に学生納付特例制度にかかる相談・受付窓口を開設する。

※年金セミナー開催校を中心にアプローチを実施

(4) 年金委員活動支援事業

年金委員は、職場・地域内外における公的年金制度の周知・啓発という重要な役割を担っていることから、委員活動の一層の活性化を図るとともに、委員活動が充実し円滑に行えるよう以下の支援を行う。

1. 研修及び意見交換

厚生労働省大臣官房年金管理審議官通知に基づき、年度当初に研修計画を策定のうえ、制度改正事項、重点協力依頼事項を中心とした研修及び意見交換を実施する。

2. 積極的な情報提供

(1) 啓発資料(「ねんきんNEWS」「アニュアルレポート」「知っておきたい年金のはなし」等)を送付する。

(2) 「年金委員活動の手引き(地域型のみ)」を送付する。

3. 委嘱数拡大に向けた取組

(1) 職域型

- ① 年金委員未設置事業所への推薦依頼文書の送付
- ② 「日本年金機構のお知らせ」（全適用事業所送付）並びに「社会保険なら」（社会保険協会会報誌）への広報記事の掲載

(2) 地域型

- ① 市町村、社会福祉協議会等の推薦母体に対する、積極的な推薦依頼

4. 年金委員表彰

- 1 1月の「ねんきん月間」に年金委員活動功労者への表彰を実施する。

(5) 地域年金事業運営調整会議

地域、教育、企業の中での年金制度の周知、理解、支援のネットワークの強化及び地域年金展開事業の推進を図るべく、地域年金事業運営調整会議を開催のうえ、以下の事項につき審議を行う。

1. 地域年金展開事業の事業計画の策定・推進に関することについて

年金事務所が策定した地域年金展開事業の事業計画について、取組方針や実績などの報告を受け、効果的かつ効率的な事業運営のための意見を聴取する。

2. 地域年金展開事業を充実させるための方策について

地域年金展開事業を充実させるための意見交換を行う。

(令和6年4月～令和7年1月実施分 奈良県全体版)

年金セミナー アンケート集計結果

●アンケート集計結果

【対象校】 10校

(内訳)

大学・短大 0校

専門学校等 3校

高等学校 7校

【対象者数】 767名

(内訳)

大学・短大 0名

専門学校等 91名

高等学校 676名

1. 年金のイメージ

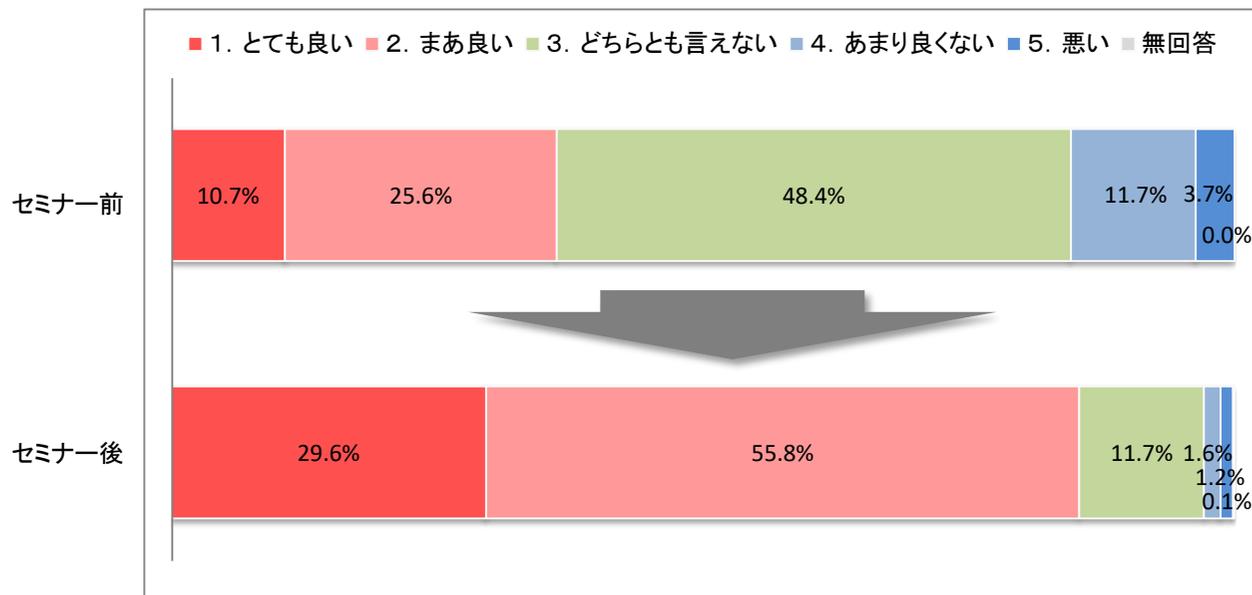
○セミナー前

選択肢	回答
1. とても良い	82件
2. まあ良い	196件
3. どちらとも言えない	371件
4. あまり良くない	90件
5. 悪い	28件
無回答	0件



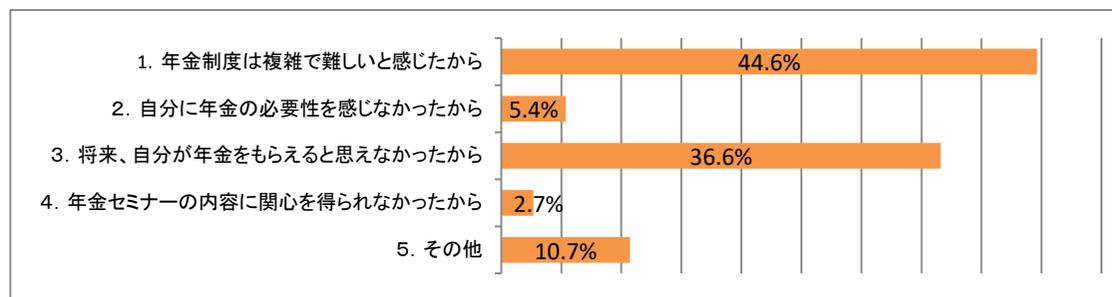
○セミナー後

選択肢	回答
1. とても良い	227件
2. まあ良い	428件
3. どちらとも言えない	90件
4. あまり良くない	12件
5. 悪い	9件
無回答	1件



※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

選択肢	回答
1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから	50件
2. 自分に年金の必要性を感じなかったから	6件
3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかったから	41件
4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかったから	3件
5. その他	12件



『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の **36.2%** から、セミナー後は **85.4%** になりました。

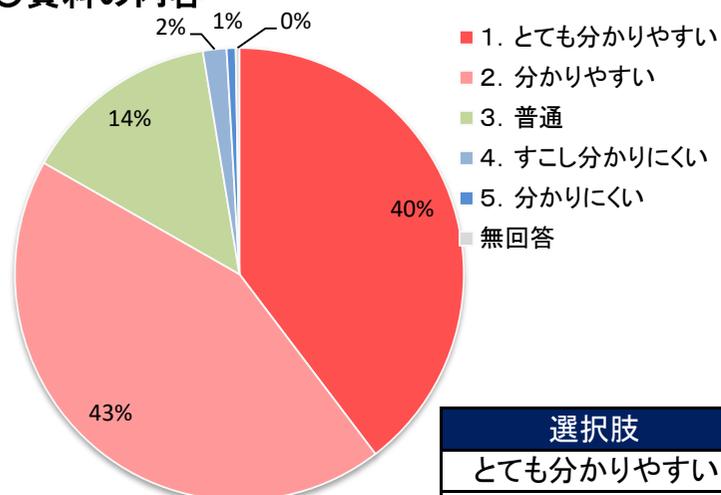
2. 講義について

○説明時間の長さ

選択肢	回答
長い	104件
ちょうど良い	655件
短い	7件
無回答	1件

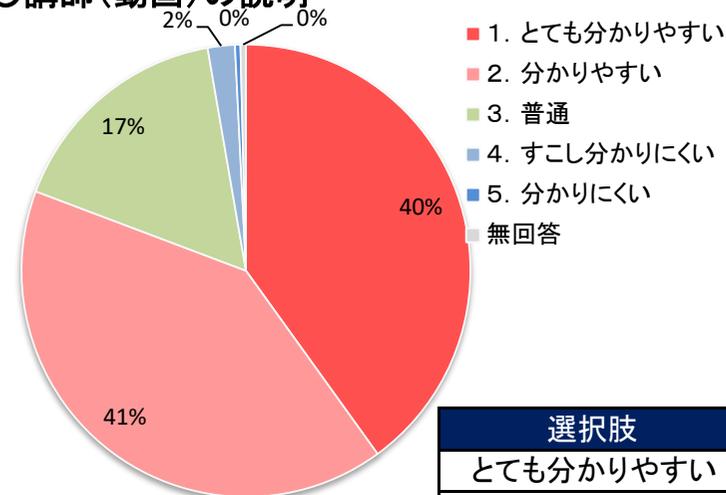


○資料の内容



選択肢	回答
とても分かりやすい	304件
分かりやすい	334件
普通	109件
少し分かりにくい	13件
分かりにくい	5件
無回答	2件

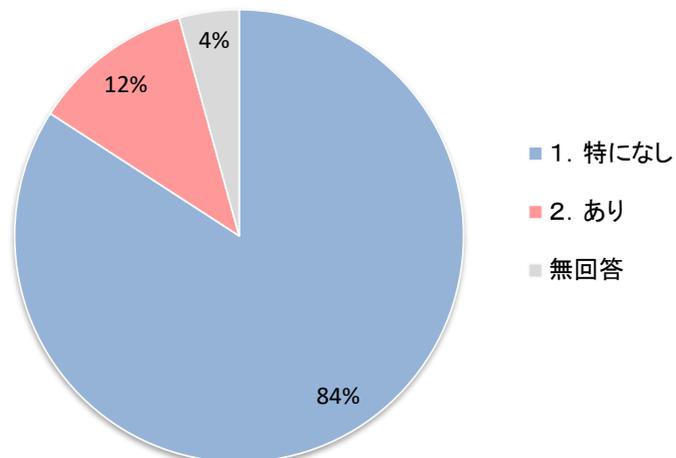
○講師(動画)の説明



選択肢	回答
とても分かりやすい	307件
分かりやすい	312件
普通	127件
少し分かりにくい	15件
分かりにくい	3件
無回答	3件

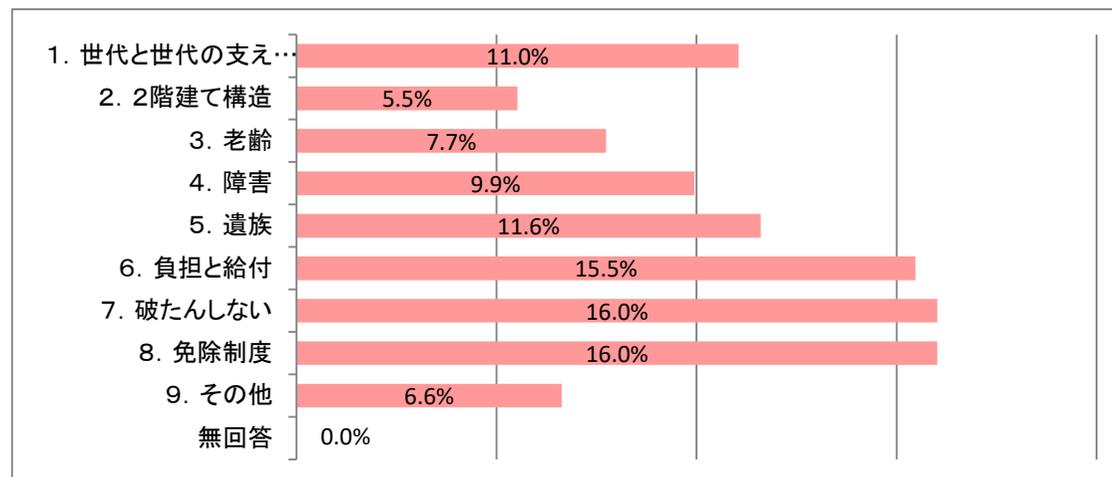
○詳しく説明してほしい内容の有無

選択肢	回答
特になし	645件
あり	89件
無回答	33件



「あり」の場合(複数回答)

選択肢	回答
世代と世代の支えあい	20件
2階建て構造	10件
老齢年金	14件
障害年金	18件
遺族年金	21件
保険料負担と給付	28件
公的年金は破綻しない	29件
保険料の免除制度	29件
その他	12件
無回答	0件

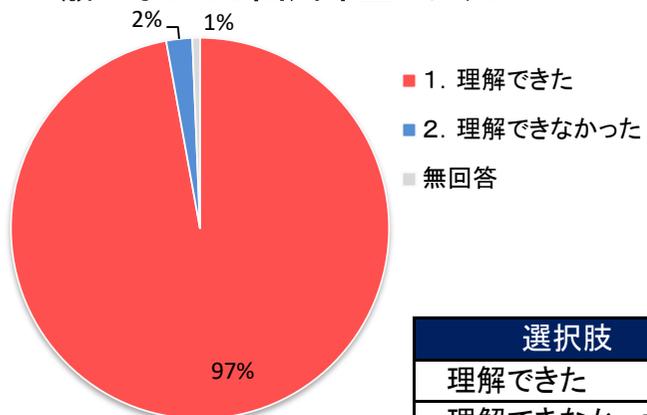


その他の主な内容

○少子化の話が聞きたかった。今後の保険料負担額がどうなるのかも知りたかった。
○ガクトクを受けている人は卒業した月から年金を払わなければいけないのか

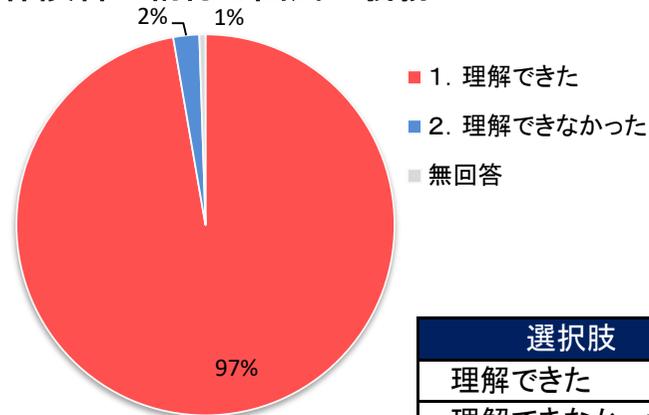
3. 年金制度の理解度

○20歳になったら国民年金に加入



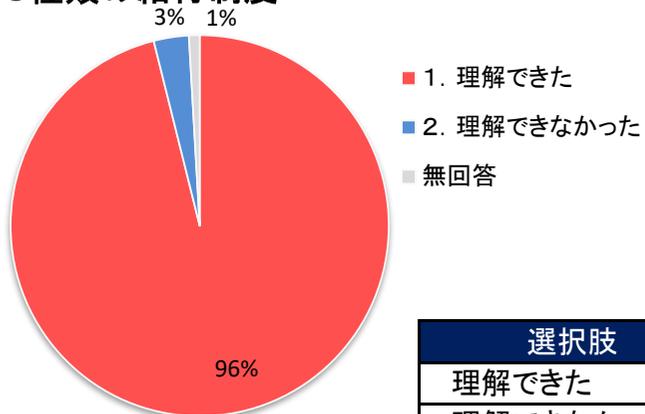
選択肢	回答
理解できた	745件
理解できなかった	17件
無回答	5件

○保険料の納付は国民の義務



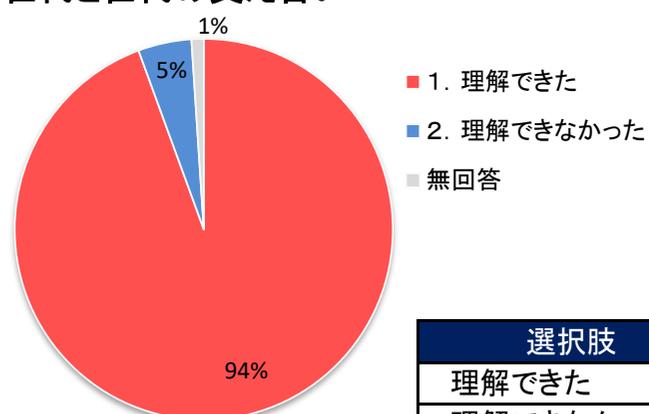
選択肢	回答
理解できた	746件
理解できなかった	17件
無回答	4件

○3種類の給付制度



選択肢	回答
理解できた	737件
理解できなかった	23件
無回答	7件

○世代と世代の支え合い

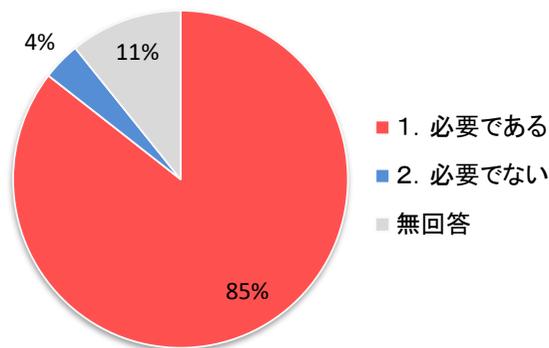


選択肢	回答
理解できた	724件
理解できなかった	35件
無回答	8件

4. 年金制度の必要性

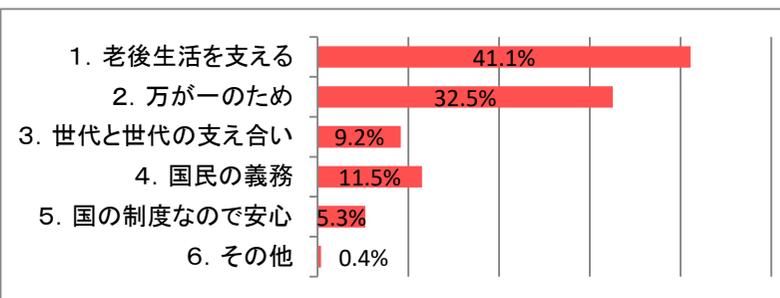
○年金制度は必要か

選択肢	回答
必要である	656件
必要でない	28件
無回答	83件



「必要」の場合(複数回答)

選択肢	回答
老後生活を支える	546件
万が一のため	432件
世代と世代の支え合い	122件
国民の義務	153件
国の制度なので安心	70件
その他	5件

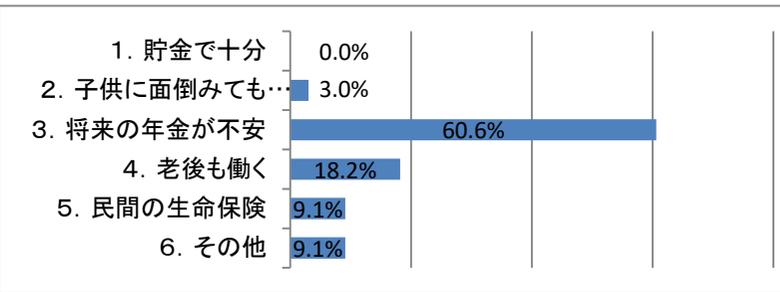


その他の主な内容

- ・自分と家族のため
- ・貯金だけでは不安だから

「必要でない」の場合(複数回答)

選択肢	回答
貯金で十分	0件
子供に面倒みてもらう	1件
将来の年金が不安	20件
老後も働く	6件
民間の生命保険	3件
その他	3件



その他の主な内容

- ・現状の制度は時代に合っていない(第3号被保険者など)